

教育目標

(1) 本校の教育目標

校 訓	真	真理を求め続ける 生徒・教師	め ざ す 姿	・自ら課題を見つけ、自ら考え、表現できる生徒・教師
	善	礼儀正しい 生徒・教師		・苦しさに負けないで心身を磨き、鍛える生徒・教師 ・場をわかまえ正しい判断のできる生徒・教師
	善	感性豊かな 生徒・教師		・互いに相手を尊重し、たくましく生きる生徒・教師 ・正しいこと、美しいものに感動できる生徒・教師

※学校経営の理念；『学校は、楽しいところであらねばならない。

しかし、歯をくいしばって 涙をこらえ がんばるところでもある。』

『時を守り、場を清め、礼を正す』

(2) 経営方針

あま市教育立市プランを基盤とし、教職員の共通理解のもとに、師弟同行の精神で、生徒や保護者、地域社会の期待に応える活力ある学校づくりをめざし、5年後、10年後に社会に貢献できる人を育てる。

【真】

ア 生徒一人一人を大切に、個性や長所に目を向け、伸ばさせるために、創意と工夫に満ちた教育活動を進める。

イ 基礎的・基本的な学習の定着を図り、自ら学ぶ意欲と態度を育て、学ぶことの楽しさや達成感が味わえる「真の学び」のある授業づくり」の実践を進める。

【善】

ウ 人権教育を推進し、生徒の規範意識の醸成とモラル向上を図るための取り組みを進める。

【美】

エ 温かい心の通った環境整備に努め、うるおいのある教育環境づくりを進める。

オ 多彩な資源を生かした地域連携を進める。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 「よさ」に着目し、明るく、節度ある学校・学級づくり

・ ESD教育を推進し、人権教育を通して、生徒が自己肯定感や自己有用感を高めることができる学校・学年・学級づくりに努める。

・ 全ての教育活動を通して、教師は人権感覚を磨き、心の居場所のある学校・学年・学級づくりに努める。

イ すべての生徒が「分かった」「できた」と実感できる魅力ある授業づくり

・ 基礎的・基本的な学習の定着を図るとともに、グループ学習を取り入れ、生徒のコミュニケーション能力を高めさせる方法を研究し、教師の授業力向上に努める。

・ 「通級指導教室」を有効に活用し、気持ちを安定させると共に基礎学力の定着を図る。

ウ たくましく生き、心豊かな生徒の育成

・ 道徳の授業や全校及び学年での集会活動を核に、善悪の判断力・忍耐力を身につけさせ、規範意識の醸成を図り、モラル向上を図る。

・ 体験的な学習を重視し、個の可能性の伸長に努め、生涯学習の基礎的能力や態度を培い、社会の変化に対応し、主体的に生きていく力の育成を図る。

・ ボランティア活動への積極的参加を図る。

エ 生徒の心を和ませる教育環境づくり

・ 教師の「語りかけ」を日頃から大切に、心が通い合う環境づくりに努める。

・ 「もっけい清掃」を推奨し、環境美化の心を育てる。

・ 校内にある掲示板を有効に活用し、「ぬくもりのある学校・学年・学級」の雰囲気づくりに努める。

・ 便教会との連携を図る。

オ 共に育つ地域・校種間連携の推進

・ 学校から家庭や地域へホームページにより、積極的に情報発信をする。

・ 学校・家庭・地域及び関係機関が一体となり、「協働」して、地域で生徒を育てていただけるよう、積極的に情報収集し、一人でも多くの生徒が地域活動に参加できるよう促す。

・ 学校評議員制度の一層の充実を図り、PTA活動やおやじの会の活動等とも積極的に連携を図り、家庭や地域及び関係機関等の教育力を生かした「開かれた学校づくり」の具現化を積極的に進める。

・ 本校の教育活動をより充実させるために、学校評価を実施し、その結果を有効活用しながら、具体的な対応策を考え、「信頼される・開かれた学校づくり」を進める。

・ 義務教育9年間を見通し、学習・生活面での指導や支援をより充実させるために、小・中学校教育及び近隣中学校との相互理解を図るための交流活動等を行う。（小・中及び中・中連携教育の充実）

〈学年教育目標〉

1 年 自他を大切に、意欲的に諸活動に取り組む心豊かなたくましい生徒を育成する。

2 年 「真義耐」本物をめざし、よい行いをすることができ、苦しいことや辛いことにもじっと耐えることができる学年

3 年 「夢ある明日を自分のものに！」